

# 第4回茶飲みの市



あいにくの雨模様で、来場者は少なかったのですが、安心院高校のトマトは好評で完売！

昨年7月の1回目の時と同じように今回も板場の山崎哲秀さんが枝豆を、大坪館長がお母さん手作りの「淡雪かん」をお茶うけにと差し入れてくださいました。参加者のみなさんでおいしくいただきました。

うれしいことに、安心院高校から5名のボランティア希望があり(うち2名はオープンキャンパスのため参加できず)、3名がアシストに来てくれました。

前回は参加してくれた2名の3年生は、残念ながら次回11月は受験等のため参加できないということでしたが、今回新たに参加してくれた1年生と今回来られなかった2名は次回も来てくれることと思います。



## 津房地区公民館便り

編集・発行  
津房地区公民館

電話番号  
48-2001



## お譲りいたします



また、**白妙菊(シルバーリーフ)**も殖えていますので、根ごと掘って持って帰っていただけると助かります。

公民館の教室に参加している方が、玄関に咲いているガクアジサイが欲しいとご所望されたので、挿し芽をして根が出たところです。秋には地植えをすることができます。

欲しい方は、直接来館されるか、公民館48-2001までご連絡ください。



正直に申しますと、多すぎて困っています。助けてください。

「茶飲みの市」は、地域のみなさまの交流を目的として行っています。「出品される方」と「購入される方」が交わって初めて成り立ちます。「出品される方」が売り上げた代金は売った方のものです。購入されなくても、気軽に足を運んで談話を楽しめるように(五〇円はいただきます)お茶やコーヒーを公民館が準備しています。次回は十一月です。また、ご参加ください！

# 賭けない！飲まない！吸わない！ 健康マージャン

麻雀は対局する中で、必ず脳と手を使う必要があります。何も趣味を持っていないと脳を働かせる頻度も少ないうえに、手先をうまく動かす機会が少なくなってしまう。すると、脳に新しい刺激がいかななくなるので、ボケてしまう可能性があります。

それに社会の大きな問題となっているのが「高齢者の孤独」です。麻雀の対局は必ず相手がいないと成り立ちませんので、一人でやることはできません。相手がいるということは必然的にコミュニケーションをとり、会話をすることになりますし、まずは健康マージャンに行くことで自宅から外に出ることになります。(中略)

他人と交流しながらボケ防止の麻雀を健康的なペースでできる「健康マージャン」はまさに認知症予防と孤独を解消するために最強とっていいぐらいの遊びです。

(岡山健康マージャンのホームページより)

始めませんか？  
ただいま準備中！



ということで、ただいま公民館では「健康マージャン」ができるよう準備をしています。(始めるときには公民館便りでお知らせします)

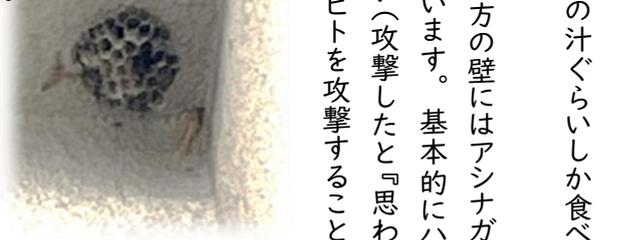
麻雀のやり方がわからなくても、講師をお願いいたしますので、初心者も大歓迎です。

まだ麻雀パイを一セットだけ用意できただけです。もし、ご自宅にパイが眠っていて「寄付してもいいよ」という方がいらっしゃればご連絡ください。また、正方形の昔ながらの「やぐらこたつとテーブル」のセットなどもありましたらお知らせください。



今年も「津房まちづくり協議会」にご協力をいただき、グリーンカーテンを作りました。今、アサガオがどんどん成長しているところです。同時にたくさんの小さなクモやその他の虫たちがアサガオの茂る中に住んでいます。それらの虫を餌として写真のようなアシナガバチもグリーンカーテンの周りを飛び回っています。※スズメバチやアシナガバチの腹部はとても細くなっています、本当は、小さな虫を狩っても、自分は餌にできません。だって、お腹が細すぎて食べ物が通らない！

狩った小さな虫は、子の餌になります。大人は木の汁ぐらいしか食べられないのです。グリーンカーテンの上の方の壁にはアシナガバチの巣がぶら下がっています。基本的にハチ本体や巣を攻撃しない(攻撃したと『思われない』)かぎり、私たちヒトを攻撃することはないのですが、怖い存在であるのは間違いないですね。見かけたときは、何もせずじつとやり過ごせばハチの方からどこかに行きます。



## 放課後児童クラブの十一名が地震体験



七月一九日(金)午後三時から、「大分県地震体験車・ユレルンダー」を使って、地震の揺れを体験しました。最大震度7では、体験者が乗っている「箱」が見た目ですが、十〜十五cm幅近く動いていました。体験車内では安全のため、テーブルは



固定されていました。固定されているのが、実際の家の中で、つかまるものなどないのが普通ですね。宇佐市では、1920年以降震度4以上の地震が過去ありません。(気象庁より)だからと言って、起きない保証はありません。